

03. 各区におけるパネル展示実施のお知らせ

静岡市のまちづくり、都市計画マスタープランの改訂についてのパネル展示を行っています。
静岡市の今と昔を比較した航空写真など興味深いパネルとなっています。ご来場お待ちしております！

～ 開催概要 ～

開催日・場所

【葵 区】：10月27日(月)～11月6日(木)

静岡庁舎 1階ロビー

【清水区】：11月12日(水)～11月21日(金)

清水区役所 1階ロビー

【駿河区】：11月25日(火)～12月5日(金)

セントラルスクエア静岡内 2階連絡通路

※時間は、9:00～17:00となります。



04. 連載コラム『私の想う、静岡市の未来』



執筆：平山 佐知子さん
(フリーアナウンサー)

14年に渡りNHK静岡の報道番組のキャスターを務め、現在もフリーアナウンサーとして引き続き県内様々な話題にアンテナを伸ばしています。特に以前「ものづくり県静岡」を象徴するような元気企業の話題も積極的に取材し、世界にも誇れる技術を見て静岡のパワーを感じました。また石川県出身の私から見る静岡は、年間を通して青空が印象的で気候も良く長い日照時間で出来る豊富な作物があり、新幹線や東名・新東名の動脈が通る流通の拠点でもある恵まれた地域との印象もあります。これからの静岡市のまちづくりを考える上で、こうした資源や利点を改めて見直してはどうでしょうか。例えば注目を集める「健康」にこだわった「健康都市静岡」などは魅力的な響きがあります。静岡県は健康寿命日本一です。「静岡で暮らせば健康で長生きできる」となれば多くの人が訪れ、その秘訣を探ろうと国内はもちろんだ世界からも注目を集めるのではないのでしょうか。一例として、清流と言われる安倍川の伏流水が市内では水道水となっていること、その水でいれる静岡茶が健康にも良いこと。そうした場所を実際に巡るツアーは外国の方にも喜ばれそうですね。

個々でPRするよりも、一つのテーマで円になるよう紹介する方が断然わかりやすいはず。身近に宝物が転がっている静岡。それぞれが知恵を出し合い、たくさんの方が訪れ居住地にもなり得る静岡市の未来について真剣に考える時が来ているのではないのでしょうか。

静岡市 HP、静岡市公式 Facebook もご覧ください！

静岡市都市計画マスタープランの改訂をはじめ、シンポジウムやその他の取り組みに関する情報は、静岡市 HP や静岡市公式 Facebook でも積極的に発信しています。

こちらもぜひご覧ください！

静岡市 HP (都市計画課)

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/tosikeikaku/index.html>

静岡市公式 Facebook

<https://www.facebook.com/koho.shizuokacity>

SHIZUOKA トシマス vol.2

発行：静岡市 都市局 都市計画部 都市計画課
住所：〒420-8602 静岡市葵区追手町 5 番 1 号
TEL : 054-221-1406 FAX : 054-221-1117

SHIZUOKA

2014.11

トシマス

vol.2

静岡市都市計画マスタープランのニュースレター

静岡市では現在、「静岡市都市計画マスタープラン」の改訂を通じて、今後、静岡市をどのような都市にしていくのか検討を進めています。

その際、都市計画マスタープランに関する情報を積極的に発信し、市民の皆さんから様々なご意見をいただくことが大切であると考えています。

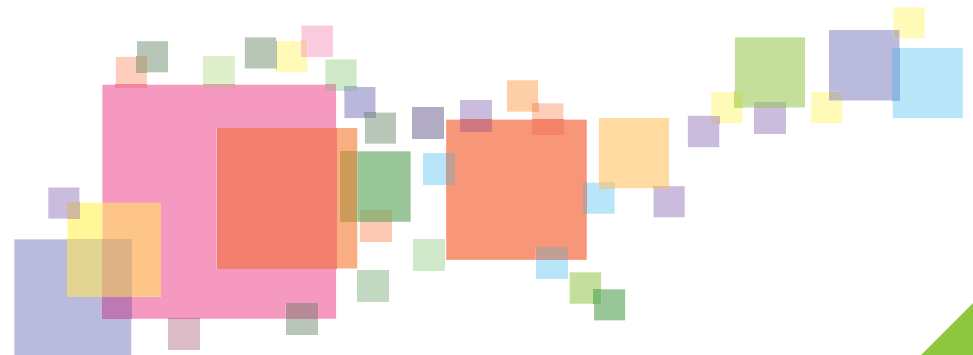
静岡市都市計画マスタープランのニュースレター「SHIZUOKA トシマス」第2弾は10月に行った市民参加の状況と、今後の予定、まちづくりに関するコラムを掲載しました。

ぜひ手に取ってご覧ください。

INDEX

01. まちづくりシンポジウムを開催しました。
02. まちづくりカフェ (意見交換会) の報告と開催のお知らせ
03. 各区におけるパネル展示実施のお知らせ
04. 連載コラム『私の想う、静岡市の未来』

執筆：平山 佐知子さん (フリーアナウンサー)



01. まちづくりシンポジウムを開催しました。

10月4日(土)、静岡インザライブにおいて、「みんなで考える、静岡のまちづくり～20年後の静岡はどんなまち?～」と題して、まちづくりシンポジウムを開催しました。有識者5人を迎え、意見を伺いながら、市の将来像について、市民約130人の皆さんと意見を交わしました。

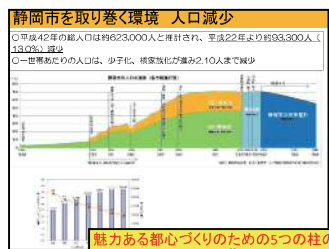
① 基調講演

『しずおかの魅力を活かした都市計画』

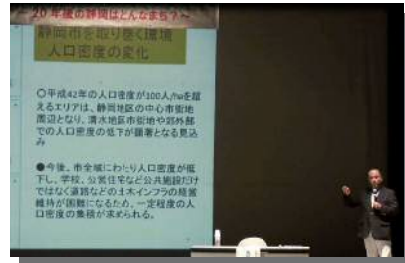
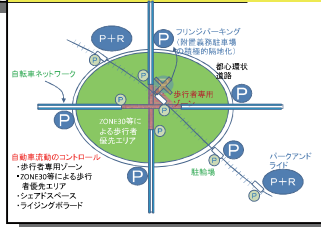
埼玉大学大学院 理工学研究科 教授
久保田 尚氏

静岡市を取りまく環境

- ・人口減少により市全域の人口密度が低下し、1世帯当たりの人数も減少している。
- ・少子高齢化が著しい中、郊外にある利用者数の少ない病院や公共施設などが財政を圧迫している状況。
- ・静岡市内でも空き家が特に郊外を中心に増加し、治安環境の悪化も懸念されている。
- ・交通利便性の高いエリアに拠点を定め、商業施設や医療施設を集約することで、行政コストの削減が見込まれるとともに、歩いて暮らせる小さいまちづくり(コンパクトシティ)の実現が求められている。



魅力ある都心づくりのための5つの柱のパッケージ



まちづくりと市民

まちづくりをするにあたり、市民の声を反映させることがとても重要であるが、問題点もある。

- ・アンケート調査、未回答の急増。
- ・計画策定段階で、賛成の人ほど沈黙。
- ・計画策定などに影響が出始めている。
- ・見かけ上の反対多数になってしまう。

～フランス・ストラスブールの事例紹介～
街中を車両進入禁止にすることで、観光資源である景観の保全に成功したが、それには長い試行錯誤があった。素晴らしいまちにしたいという市民の総意が無ければ将来は変わらない。

静岡のこれからのまちづくりに関する話題

- ・近隣住区論
「街区を幹線道路で囲み、中心に小学校や高齢者集会施設を配置すると安全に歩いて暮らせるまちづくりが可能。時代にふさわしいまちづくり(都市)モデルの議論も重要。」
- ・高速道路と沿道の開発・保全
「IC周辺のまちづくりにおいては、開発と田園保全の両立、調和が必要。計画的な開発が今後の課題。」
- ・歴史的地区のまちづくり
「観光資源、歴史資料の保全と活用のバランスを取ることが重要。」

② パネルディスカッション

『どうする?これからの静岡』

～次の世代へつなげる・つながるまちを目指して～

コーディネーター：柳沢 厚氏 (C-まち計画室代表 静岡市都市計画審議会委員)

パネリスト：久保田 尚氏 (埼玉大学大学院 理工学研究科 教授)

森 理世氏 (静岡市観光親善大使)

松村 麻子氏 (「womo」元編集長)

松浦 和彦氏 (静岡市都市局長)

司会：平山 佐知子氏 (フリーアナウンサー)

まちづくりとの関わり方、静岡の魅力って?

森氏： 自分の海外での経験から、外から来た人も市民もどちらも楽しめる魅力づくりが必要。セントラルパークのような、まちの中に緑があり、幅広い世代が楽しめる場所ができると良い。

松村氏： ホットする環境が静岡の魅力。静岡市の魅力をどのようにとらえ、発信するのかという知恵とアイデアが必要。

松浦氏： 街は長い年月をかけてできるもの。B級グルメも魅力の一つ。

魅力づくりは?

松村氏： お金をかけなくても、知恵とアイデアで魅力が生まれることがある。

森氏： 「静岡」をブランド化して、価値を高めることが大事。

柳沢氏： 市民と行政が情報と価値観を共有する必要がある。行政は市の良い点だけではなく悪い情報も市民に伝えるべき。

小さい街づくり(コンパクトシティ)は、実現可能?

久保田氏： 歩行者優先の街に変えるには、市民の強い思いが必要。街が大きく変わるときには、反面我慢しなければならないことが出てきます。その覚悟ができた時に街が変わる。

松浦氏： コンパクトシティのためには、交通利便性の高いところから歩いて行ける範囲に生活サービス施設を集約していくことが大切。産官学の連携が必要。

松村氏： 実証実験(実際の場面で実験し、検証すること)から始めることが大切である。

高齢者の活躍の場、若者のまちづくりへの参加には?

松村氏： 静岡市にあるファミリーサポートという子育て支援サービスを通じて、高齢者の活躍できる場がある。若者の参加のために、活動の場を増やすことが必要。

森氏： 若者が高齢者施設で働きやすい環境を行政がサポートする必要がある。

まとめ

柳沢氏： 都市計画マスタープランは市民の主体的な参加の下に作られなければならない。

02. まちづくりカフェ(意見交換会)の報告と開催のお知らせ

～ 第2回 開催概要 ～

清水区

葵区・駿河区

開催日：2014年12月4日(木) | 2014年12月5日(金)

場所：清水テルサ7階 | MIRAIE リアン1階

時間：19:00～20:30 | 19:00～20:30

定員：30名程度(先着順) | 各区30名程度(先着順)

費用：無料 | 無料

参加方法：お電話にて事前にお申し込みください

【申込期間】平成26年11月17日(月)～12月2日(火)

静岡市コールセンター(8～20時・年中無休) 054-200-4894

10月16日(木)、MIRAIE リアンにおいて、第1回まちづくりカフェを開催しました。「静岡市の魅力って何だろう?」というテーマのもと、26人の皆さんから「将来住みたいまち」について意見をいただきました。第2回では、各区に分かれて、交通や景観などの分野について、意見交換を行いたいと思います。みなさんご参加をお待ちしています。